

令和4年度士別市農業委員会活動実施計画

1. 日常活動計画

- ① 農業者年金は、国の政策年金として経営継承後の生活の安心と充実を図るために極めて有効であり、積立型で安心かつ税制面でも有利な制度であることから、北ひびき農協との連携をより充実させ、若手農業者や女性農業者を中心とした相談会を開催し、新規加入の推進に努める。また、農業者年金制度の充実を図るため、士別市農業者年金協議会の組織強化を図る。
- ② 農地法や農業委員会の業務については、一般市民は基より、農業者においても十分理解されていない状況にあることから、各種農地法の手続き方法や農業委員会の体制・活動状況を市のホームページにおいてよりわかりやすく周知する。また、農業政策や農業を取り巻く国内外の情勢の把握及び農業者の地位・見識の向上を図る観点から、「全国農業新聞」の購読拡大に努める。
- ③ 農業経営が魅力あるものになるよう、家族が主体的に経営に参画し、能力を存分に発揮できる環境を整備するとともに、将来に向けた営農計画の策定や生活設計を立てるために、「家族経営協定」の普及促進に努める。

2. 定期活動計画

- ① 毎年、業務報告書を作成し、農業経営意向調査集計書とともに農地の流動化をはじめとする日常業務に積極的な活用を図る。
- ② 農業委員会への理解と業務の周知を図るため、広報誌「農業しべつ」を発行し、農業者及び関係機関等に配布する。また、市民に対しては、士別市のホームページを通じ、農業委員会の活動をはじめ、農地転用等に必要な手続きなどをわかりやすく周知する。
- ③ 農産物の作柄状況や、農業関連施設等を把握するため、市及び関係機関と共に作況調査を実施し、作柄等の報告会を開催する。
- ④ 単身農業者の配偶者対策を目的に、市・農協と連携し、グリーンパートナー推進事業を実施するにあたり、単身農業者の意向を調査し、参加を促進する。

3. 研修の充実

- ① 道内の農業先進地や農業に関係する先駆的な取組を視察し、農業が抱える問題等の解消に向けた研修を実施する。

4. 実施推進計画

農業者の代表である農業委員が、日常的に活動する体制整備を図るために担当地域を設定するとともに、個々の農業委員が担当地域において取り組むべき課題を定め、その積極的な推進に努める。

担当地区

※ () は、あっせん・現地目証明等の支援体制

担当地域	農 業 委 員 氏 名
上士別地域	工 藤 委員 中 山 委員 森 野 委員 鈴木(淳)委員 渡 辺 委員
中士別地域	山 下 委員 木 下 委員 (武徳地域委員)
武 徳地域	小野寺 委員 松 井 委員 鈴木(茂)委員
下士別地域	梅 津 委員 (武徳地域委員)
多 寄地域	保 科 委員 湯 浅 委員 村 上 委員 古 川 委員 本 間 委員
南 町地域 駅 南地域 東 山地域	佐久間 委員 柳 委員 (川西地域委員)
北 町地域	(西士別・南士別地域委員)(下士別地域委員)(南町・駅南・東山地域委員)
川 西地域	沼 舘 委員 (南町・駅南・東山地域委員)
西士別地域 南士別地域	鈴木(庄)委員 (南町・駅南・東山地域委員)
温根別地域	遠 藤 委員 寺 崎 委員 中 澤 委員
朝 日地域	上 野 委員 岡 崎 委員 新 田 委員 栗 本 委員

定期活動計画（別表）

NO	定期活動内容	予定実施月	備考
	活動計画策定 ・農業委員会活動実施計画 ・農業者年金加入推進活動計画 ・最適化活動の目標の設定等 ・農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表	4月	・政策検討特別委員会の開催
④	グリーンパートナー推進事業への参加促進	4月	
①	業務報告書作成・発行	4月	
②	農業しべつ 年2回発行	8月・12月	・編集委員会の開催
③	作況調査・報告会	8月	・政策検討特別委員会の開催
	農地等利用最適化の推進に関する意見書	11月	・農地等利用最適化推進特別委員会の開催
	農業委員会総会・協議会	毎月 原則27日	

3. 研修計画（別表）

NO	研修内容	予定実施月	備考
①	道内研修	未定(ｺﾏ対応)	・親睦会の開催